

【年明けの八幡神社初詣 上向く運をうーんと実感】

2022 年正月。昨年末の鎌倉紅葉散策で引いた「凶運みくじ」の呪縛から逃れるべく、近在の八幡神社詣でを実施。例年だと 10 円とか 5 円で済ませていた賽銭も二倍、三倍に増額して祈願を続けた。

元日 久が原東部八幡神社 第十六番 末吉。まあいいか。

二日 久が原白山神社 第三番 大吉。よっしゃー。

三日 久が原西部八幡神社 第一番 大吉。おお、おお、今年はよさそう。

おみくじ一枚 100 円が久が原地区の相場。三枚で大枚三百円をはたいた甲斐があった。



「さあ、今年もジョークサロン新年会から楽しむぞ」と、大吉効果に期待を寄せたが年末から押し寄せるコロナ変異オミクロン株の猛威に気圧されて、外出自粛となった。

ついているのか、そうでもないのか。

始まったばかりの 2022 年は吉凶判然としないままである。

近在の八幡神社初詣 賽銭増額効果倍増

末吉と大吉二枚握りしめ 令和 4 年を良い年にせむ

昨年の凶運はらう吉みくじ 頼りにしますお願いします



【近隣を散歩がてらに旅すれば 図書館で逢う「宇宙の旅」に】

年明けに大吉みくじを引いたけれど、旅立ちもままならず近隣を散歩し続けている。近場の池上駅に洒落た図書館が出来たので客足が減ったと思われる久が原図書館を覗いたら、1968 年公開された「2001 年宇宙の旅」50 周年記念本を見つけた。2018 年刊行されたい。立ち寄って少しずつ読もう決めた。誰も借りる人がいないようで、書架の同じ場所に収まっている。

現在 140 頁近くまで行った。全部で 600 頁。まだ月へは届かないが、ひとり宇宙空間を漂っている最中である。

あの頃は遠いと思った 2001 そこから既に 20 年過ぐ

クラークやキューブリックと観た宇宙 今眺めるはテレビ・スマホで

2000 迄 20 世紀が続くから 新世紀なり 2001

